



## 2024年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年4月5日

上場会社名 日本エンタープライズ株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4829 URL https://www.nihon-e.co.jp  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植田勝典  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 田中勝 TEL 03-5774-5730  
四半期報告書提出予定日 2024年4月12日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年5月期第3四半期の連結業績（2023年6月1日～2024年2月29日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第3四半期	3,445	10.1	196	60.2	210	59.9	160	162.7
2023年5月期第3四半期	3,129	5.3	122	129.4	131	116.7	60	-

(注) 包括利益 2024年5月期第3四半期 171百万円 (132.1%) 2023年5月期第3四半期 73百万円 (819.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第3四半期	4.16	-
2023年5月期第3四半期	1.58	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年5月期第3四半期	5,904	5,014	82.5	126.34
2023年5月期	5,717	4,926	83.7	124.18

(参考) 自己資本 2024年5月期第3四半期 4,868百万円 2023年5月期 4,785百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	-	0.00	-	2.00	2.00
2024年5月期	-	0.00	-	-	-
2024年5月期（予想）	-	-	-	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 2024年5月期の連結業績予想（2023年6月1日～2024年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,750	12.8	280	55.2	290	52.5	210	103.5	5.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年5月期3Q	38,534,900株	2023年5月期	38,534,900株
② 期末自己株式数	2024年5月期3Q	－株	2023年5月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年5月期3Q	38,534,900株	2023年5月期3Q	38,534,900株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）2ページ以降の「経営成績に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行による経済活動の正常化が進み、企業活動の持ち直しや雇用・所得環境の改善により、景気回復の動きが継続しました。一方でロシアによるウクライナ侵攻等による原材料・エネルギー価格の高止まりや世界的な金融引き締め、海外経済の下振れ等、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経済情勢の下、当社グループに関連するITサービス業界を取り巻く環境は、高度なデジタル化・ネットワーク化によるモバイルコンテンツ関連市場の成長、サステナビリティ経営に向けたDX(注1)推進に伴う企業の活発なIT投資等により堅調に拡大しております。

これらの状況において、当社グループといたしましては、クリエイション事業(コンテンツサービス、ビジネスサポートサービス等)及びソリューション事業(システム開発サービス、業務支援サービス、その他サービス)を推進し、事業規模及び収益拡大に努めてまいりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

#### <クリエイション事業>

自社で保有する権利や資産を活用したサービスを提供する当事業は、一般消費者向け「コンテンツサービス」においては、通信キャリアの月額及びアプリストアのコンテンツが減少したものの、通信キャリアの定額制コンテンツの増進により増収に転じました。

法人向け「ビジネスサポートサービス」においては、企業による業務効率化やクラウド活用が進み、キッティング支援、交通情報、EC・ASPサービス等の増進により増収に転じました。

以上の結果、クリエイション事業の売上高は12億88百万円(前年同四半期比6.3%増)、セグメント利益は3億45百万円(同20.0%増)となりました。

#### <ソリューション事業>

法人向けシステムの受託開発・運用を主な業務とする当事業は、「システム開発サービス」においては、サステナビリティ経営に向けた企業のDXの推進に伴い、AIやIoT(注2)等、様々な技術を組み合わせたシステム開発の需要が増大する中、スマートフォンアプリ及びサーバ構築の豊富なノウハウと実績が評価され、アプリ開発、WEB構築、サーバ構築、システム運用・監視、デバッグ、ユーザーサポート、販売促進等クリエイション事業で培ったノウハウを活かした受託開発を推し進めた他、ラボ型開発(注3)が大きく増進し増収いたしました。

人手不足問題にマッチした「業務支援サービス」においては、大手通信キャリアを中心に営業を促進し、既存顧客への深耕と新規顧客の獲得を推し進め増収となりました。

また、「その他サービス」は、中古端末買取販売サービスが伸長したものの、新型コロナウイルス感染症の5類移行による経済活動の正常化に伴う抗菌・抗ウイルス性能を有するガラスコーティング剤の減少等により減収となりました。

以上の結果、ソリューション事業の売上高は21億56百万円(前年同四半期比12.5%増)、セグメント利益は2億83百万円(同14.7%増)となりました。

#### <連結決算の概況>

当第3四半期連結累計期間における売上高は34億45百万円(前年同四半期比10.1%増)、営業利益は1億96百万円(同60.2%増)、経常利益は2億10百万円(同59.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億60百万円(同162.7%増)となりました。

売上高については、システム開発サービスを中心に、ソリューション事業・クリエイション事業ともに増勢に推移したことにより増収いたしました。

営業利益については、売上高の増収の他、広告宣伝費をはじめとした販売費及び一般管理費の減少により増益いたしました。

経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益については、営業利益の増加の他、受取配当金等による営業外収益の増加、投資有価証券売却益による特別利益の増加により増益いたしました。

(注1) 「Digital Transformation」の略

「ITの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」という概念。

(注2) 「Internet of Things」の略

モノをインターネットに接続して制御・認識等を行う仕組みを意味する。

(注3) 専任のITエンジニアチームによる開発支援形態

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1億86百万円増加し、59億4百万円となりました。流動資産は、主に売掛金及び契約資産の増加により前連結会計年度末と比較して1億53百万円増加し、52億46百万円となりました。固定資産においては、主に有形固定資産の増加、投資有価証券の増加及び繰延税金資産の増加により前連結会計年度末と比較して33百万円増加し、6億57百万円となりました。

負債につきましては、主に買掛金の増加、賞与引当金の増加、固定負債のその他（リース債務等）の増加及び流動負債のその他（未払金等）の減少により前連結会計年度末と比較して98百万円増加し、8億90百万円となりました。

純資産につきましては、剰余金の配当がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により前連結会計年度末と比較して87百万円増加し、50億14百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月期の連結業績予想につきましては、2024年4月5日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

引き続き、クリエイション事業（コンテンツサービスの新たな施策、キッティング支援やEC・ASPサービス等への注力等）、ソリューション事業（DXの推進によるITサービスの需要拡大に伴うシステム開発サービス、業務支援サービスの拡大等）に注力することで、増収増益を目論んでおります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,335,472	4,342,565
売掛金及び契約資産	667,605	821,452
商品	12,654	13,326
仕掛品	13,596	8,588
貯蔵品	290	230
未収入金	10,963	12,185
その他	53,531	48,849
貸倒引当金	△262	△262
流動資産合計	5,093,852	5,246,936
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	25,542	30,846
機械及び装置（純額）	237,400	219,686
土地	12,400	12,400
その他（純額）	8,275	30,396
有形固定資産合計	283,617	293,329
無形固定資産		
ソフトウェア	172,564	174,063
その他	7,049	6,445
無形固定資産合計	179,614	180,508
投資その他の資産		
投資有価証券	52,196	66,180
差入保証金	78,963	78,892
繰延税金資産	27,626	36,669
その他	2,120	2,120
投資その他の資産合計	160,906	183,862
固定資産合計	624,138	657,701
資産合計	5,717,990	5,904,637

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	168,130	260,975
1年内返済予定の長期借入金	23,496	23,496
未払法人税等	37,260	45,834
未払消費税等	52,486	60,274
契約負債	35,780	36,943
賞与引当金	—	32,362
役員賞与引当金	—	4,227
その他	251,547	196,284
流動負債合計	568,701	660,398
固定負債		
長期借入金	159,907	142,285
退職給付に係る負債	50,504	54,353
その他	12,284	33,098
固定負債合計	222,696	229,736
負債合計	791,398	890,135
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,108,338	1,108,338
資本剰余金	984,894	984,894
利益剰余金	2,692,070	2,775,235
株主資本合計	4,785,303	4,868,468
新株予約権	1,471	2,039
非支配株主持分	139,818	143,994
純資産合計	4,926,592	5,014,502
負債純資産合計	5,717,990	5,904,637

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)
売上高	3,129,614	3,445,255
売上原価	1,866,734	2,155,408
売上総利益	1,262,880	1,289,847
販売費及び一般管理費	1,140,257	1,093,377
営業利益	122,622	196,469
営業外収益		
受取利息	79	56
受取配当金	—	7,299
補助金収入	5,203	6,024
受取賃貸料	999	999
受取手数料	3,436	—
業務受託手数料	450	720
為替差益	44	253
その他	838	501
営業外収益合計	11,051	15,854
営業外費用		
支払利息	1,637	1,449
支払手数料	319	319
その他	72	29
営業外費用合計	2,029	1,799
経常利益	131,644	210,524
特別利益		
投資有価証券売却益	—	22,402
特別利益合計	—	22,402
特別損失		
固定資産除却損	—	273
特別損失合計	—	273
税金等調整前四半期純利益	131,644	232,653
法人税、住民税及び事業税	55,986	70,518
法人税等調整額	1,919	△9,042
法人税等合計	57,905	61,475
四半期純利益	73,739	171,178
非支配株主に帰属する四半期純利益	12,754	10,943
親会社株主に帰属する四半期純利益	60,985	160,235

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)
四半期純利益	73,739	171,178
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	73,739	171,178
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	60,985	160,235
非支配株主に係る四半期包括利益	12,754	10,943

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年6月1日至 2023年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	クリエイション 事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,212,881	1,916,733	3,129,614	—	3,129,614
セグメント間の内部売上高 又は振替高	120	9,337	9,457	△9,457	—
計	1,213,001	1,926,070	3,139,072	△9,457	3,129,614
セグメント利益	287,831	247,007	534,838	△412,216	122,622

(注) セグメント利益の調整額の主なものは、各事業セグメントに帰属しない管理部門等の一般管理費△412,216千円であります。

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年6月1日至 2024年2月29日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	クリエイション 事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,288,958	2,156,297	3,445,255	—	3,445,255
セグメント間の内部売上高 又は振替高	60	6,522	6,582	△6,582	—
計	1,289,018	2,162,819	3,451,838	△6,582	3,445,255
セグメント利益	345,339	283,226	628,565	△432,095	196,469

(注) セグメント利益の調整額の主なものは、各事業セグメントに帰属しない管理部門等の一般管理費△432,095千円であります。

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。